

平成24年 7月 3日

マルセイユ市をはじめとする南仏地方では、6月頃から盗難被害に遭う日本人旅行者の方が目立って増えており、今後、本格的なバカンスシーズン到来にあたり、その被害が増えることが懸念されます。

特にマルセイユ市で発生したひったくり事件は、手口が大胆不敵で白昼堂々と周囲に目撃者もいる中、敢行されています。以下に実際の被害例を紹介いたしますので、治安対策の参考にしていただければ幸いです。

●マルセイユ市

1. 被害日時：6月下旬の日曜日 午前10時ころ

被害場所：マルセイユ市旧港地区 **Quai Rive Neuve** 路上

被害者：年齢60歳代の日本人女性

被害状況：ショルダーバッグをたすき掛けにして歩行中、前方から歩いてきたアラブ風の男に、いきなりショルダーバッグの紐部分を引っ張られ、紐が切れたと同時にバッグをひたたくられた。その後、犯人の男は、そばの車道を走ってきたバイクに乗車し逃げ去った。

2. 被害日時：6月下旬の日曜日 午後3時ころ

被害場所：マルセイユ市サンシャルル駅近辺

Rue Marcel Sembat 路上

被害者：年齢60歳代の日本人女性

被害状況：ショルダーバッグをたすき掛けにして歩行中、後方から来た男にいきなりショルダーバッグの紐部分を強く引っ張られ、その反動で路上に倒れ込んだところ、ショルダーバッグをひたたくられた。犯人の男はそばの車道を走ってきたバイクに乗車し逃走した。

●コートダジュール地方

ニース、カンヌ間やニース、モナコ間等の電車内で、日本人旅行者の方がすり被害に遭う事件が散発しています。リュックサックやショルダーバッグ等を携行中、気付いた時にはチャックを開けられる等して中に入れていた財布や旅券を盗まれるすり事件が発生しています。同地方で電車を利用される際は特に注意してください。

【対策】

マルセイユ市内で発生したひったくり事件については、被害者がショルダーバッグをたすき掛けにしているところを、ひったくられました。

従来、ショルダーバッグを携行する場合、たすき掛けにすることが盗難対策には有効とされているのですが、現在のマルセイユ市内中心部においては、それが必ずしも当てはまらないこともあることに留意いただき、貴重品を携行する際は十分な盗難対策を立ててください。（貴重品は服の下で固定できる収納ケースに納める等）

なお、たすき掛けにしていたショルダーバッグをひったくられるケースは、普通に肩からショルダーバッグを提げているより、体により固定されているので、ひったくり犯からショルダーバッグの紐部分を強く引っ張られたり、被害者がひったくれまいとしてバッグを引き戻そうと力を入れた場合、その反動で路上に転倒して体を負傷したり、頭を打ち付けたりして重傷を負うリスクが高くなりますので十分ご注意ください。